「緑のgoo」トップページ

フォレスト サポーターズ

美しい森林づくり推進国民運動

NTTレゾナント(株)「緑のgoo」担当の小糸竜太さん(右)と広報担当の小原大介さん(左)

「緑のgoo」のしくみ

森と暮らそう

今日からやろう！森のための4つのアクション

インターネットで気軽にエコ活動

環境貢献型ポータルサービス「緑のgoo」を通じた取組

―NTTレゾナント株式会社―

NTTレゾナント株式会社は、平成19年から国内初の環境貢献型ポータルサービス「緑のgoo」を開設し、運営しています。日ごろ利用しているポータルサイトを「緑のgoo」に変えるだけで、だれでも気軽にエコ活動に貢献できるサービスです。「緑の募金」への寄付をきっかけにフォレスト・サポーターズの主旨に賛同し、昨年6月にメンバーの一員となりました。今回は「緑のgoo」担当の小糸竜太(こいとりゅうた)さんと広報担当の小原大介(おはらだいすけ)さんにお話を聞きました。

緑のgoo

「緑のgoo」は、環境保護に興味はあるものの、時間的な余裕がなく、ボランティアなどに直接参加することができない方が、パソコンや携帯、スマートフォンなどを通して環境保護に貢献できるサイトです。「緑のgoo」を利用してもらうことで得た収益の一部を、環境保護活動を行うNGO、NPO団体に寄付することでそれらの活動を支援するシステムです。平成23年までに計10回の寄付を行いました。

東日本大震災の復興支援

昨年3月の東日本大震災発生により、「緑のgoo」は被災地の復興を支援するために、第10回の寄付先を「緑の募金」を管理・運営する(公益社団法人)国土緑化推進機構に決定し、昨年12月1日に総額350万円を寄付しました。これにより震災復興のための森林整備や緑化、間伐材利用等の取組を支援しています。寄付金贈呈の際に機構と話し合った今後の震災復興支援策などは、寄付実績レポートとして「緑のgoo」に掲載中です。

◎フォレスト・サポーターズ

「緑の募金」への寄付を通じた東日本大震災被災地支援の取組

未利用の森林を活用した津波被災地の漁村再生モデルづくりを支援

間伐材の組み立て式家具「組手什（くでじゅう）」を避難所に寄贈

「緑の募金」への寄付金贈呈式

「緑の募金」への寄付に対する林野庁から感謝状の授与

中西哲生（なかにしてつお）さん

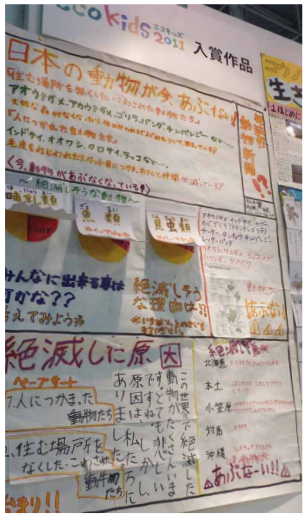
三枝こころ（さえぐさ）さん

大橋（おおはし）マキさん

野口（のぐち） 健（けん）さん

フォレスト・サポーターズ
著名人インタビュー

「緑のgoo」フォレスト・サポーターズ特集ページ
http://green.goo.ne.jp/special/forest_supporters/index.html



エコキッズ2011 入賞作品
（エコプロダクツ2011ブース内に展示）

森にふれよう　木をつかおう　森をささえよう

緑のgoo×フォレスト・サポーターズ

NTTレゾナント(株)は「緑の募金」への寄付をきっかけにフォレスト・サポーターズの活動を知り、身近にできる4つのアクション、そして「森づくりの循環」という考え方に共感し、フォレスト・サポーターズに登録しました。「緑のgoo」ではフォレスト・サポーターズの特集サイトを開設し、毎月著名人のインタビューを掲載しています。第1回は、スポーツジャーナリスト中西哲生さんにお話を伺い、現在は第4回まで掲載中です。また、ツイッターと連動したプレゼントキャンペーンも実施し、より多くのユーザーにフォレスト・サポーターズの活動をPRしています。「緑のgoo」ユーザーの中心世代である30～40代に向けて情報発信を行うことで、それぞれのユーザー層の拡大を目指すなど、フォレスト・サポーターズとのサイト間連携を高めることによるシナジー効果を期待しています。

エコキッズ2011

エコキッズは小学生自らが地球環境の未来について調べ、まとめた作品を公募する全国小学生環境学習コンテストで、「緑のgoo」が平成22年から実施しており、国際森林年等にあたる平成23年は、「国際森林年特別賞」と「国連生物多様性の10年特別賞」を設けました。また、平成23年12月15日～17日、東京ビックサイトにて開催された「エコプロダクツ2011」の「緑のgoo」特設ブースで、「エコキッズ2011」の表彰式を行いました。

今後の展開について

第11回（平成23年11月～平成24年3月）も引き続き「緑の募金」を通じて被災地支援することが決まっているほか、寄付以外の支援も検討しています。また、企業内で「緑のgoo」をポータルサイトとして積極的に利用することを目的とした「緑のgoo企業パートナープログラム」への参加企業が現在約70社あり、CSR活動の一環としても利用していただいており、今後も積極的にパートナーを増やしていく予定です。ユーザーと直接的に情報共有できるツイッターやフェイスブックなど、SNSサービスを利用したインターフェース拡大による情報発信力の強化やフォレスト・サポーターズのキャラクターを活用した木のおもちゃなど、相互連携を強化することで、環境貢献活動をさらに広めていきたいと考えています。